

# 信頼され、連携する学校づくりを ～教育活動の改善に生かす学校評価～

札幌市立平和通小学校

## I はじめに

学校改善に結び付いた学校評価

### 1 これからの学校評価

学校評価は、自らの教育活動や学校運営について自律的・継続的な改善を行っていくために、また保護者や地域住民に対して説明責任(accountability)を果たし、教育活動やその他の学校経営に対する理解と支援を得ていくためにも、今後さらに充実させていくことが求められている。

学校評価活動は、それぞれの学校が、自らの教育活動とそれを支える学校運営について自律的・継続的に改善を行っていくための活動であり、そのための根拠となるデータの収集活動を中心とし、分析活動、総括活動で構成されることになる。また、今後さらに学校が保護者や地域住民に対して公教育としての説明責任を確かに果たし、保護者、地域住民が情報や課題を教職員と共有しながら学校運営に参画していく上で重要となる。

### 2 本校の学校評価の目標

#### (1) 学校運営の改善

各学校では、自らの教育活動・学校運営の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組がなされなければならない。そして、それらの取組の適切さ等について評価し、学校として目標達成のための組織的・継続的な改善を図っていくことが大切である。そのための第一段階として学校の「自己評価」の目的が整理されなければならないと考えている。

#### (2) 開かれた学校づくり

各学校では、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価を実施し、その結果を公表することで、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくり、さらに適切な説明責任(accountability)を果たすことにもつながるのである。

## II 学校評価システム

PDCAサイクルの学校評価システム

教育活動を計画し(P L A N)、それを実践する(D O)。実践したことを評価する(C H E C K)。それをもとに指導計画を改善する(A C T I O N)。学校評価システムには、この流れが必要である。PDCAのそれぞれの段階が関連しながらサイクルとして機能する。本校では、中間評価と年度末の2回にわたって、PDCAのサイクルで学校評価を行い、具体的な教育活動の改善に当たっている。

### 1 学校評価委員会

…教頭、総務、教務部

評価計画の作成、評価項目の決定、評価資料の作成、自己評価書の作成等を行う。

### 2 学校関係者評価委員会…PTA会長、学校評議員、校長、教頭、総務

自己評価や改善への取組の適切さを検討し、学校関係者評価書の作成等を行う。

### Ⅲ 学校評価の年間の流れ

	自己評価 学校(教職員)	児童	保護者	地域	学校関係者評価 学校関係者評価委員会
4	職員会議 ・学校評価の取組 ・推進日程の確認				入学式 学校公開日(参観)
5	職員会議 ・学校評価の概要 ・推進についての説明				学校説明会参加 運動会観覧
6	学校評価委員会(実施計画の原案) 職員会議 ・実施計画の決定 ・重点目標の設定 ・各評価書の評価項目精査 (児童・保護者・教職員・学校関係者)			スクールゾーン 新委員会	
7		児童 アンケート	保護者 アンケート		評議員会
8	職員会議 中間評価についての手順				
9	自己評価(教職員)				学校公開日(参観)
10	学校評価委員会 ・中間評価について(結果と改善策) 職員会議 ・中間評価全体会(結果と改善策の提示) ・学校関係者評価の実施				第1回 学校関係者評価委員会
11					友愛セール参会 学習発表会観覧
12	自己評価の実施(教職員)	児童 アンケート	保護者 アンケート	スクールゾーン 新委員会	
1	学校評価委員会(結果と改善策)				学校公開日(参観)
2	職員会議 学校評価結果と改善策について 新年度学校経営方針				第2回 学校説明会
3	職員会議(新年度計画) 学校説明会にて改善策の提示 ホームページにて公表 評価書(自己評価・学校関係者評価)の提出				学校説明会参会

## IV 学校評価の方法

評価項目の重点化をはかる

自己評価  
項目のリンク

### 1 自己評価

「ガイドライン」では、自己評価と外部評価を次のように規定している。自己評価は「校長のリーダーシップの下で当該学校の全教職員が参加し、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行うものである」。また、注目しなければならないのは、「児童や保護者、地域住民に対するアンケートは、これまで外部評価ととらえてきたが、これらは、学校の自己評価のために必要な情報収集の一環ととらえることが適当である」としていることである。本校でも、上記のようにとらえ、実践を進めた。

#### (1) 項目の設定

評価項目については、重点目標・学習指導・生徒指導・情報及び危機管理・開かれた学校の5つの柱から作成した。また、児童・保護者・学校関係者評価書のそれぞれの項目とも、なるべくリンクさせるようにした。あとで分析や改善策を効果的に進めるためである。さらに、児童・保護者評価書の各項目の表記については、児童・保護者が分かりやすい表現にし、記入しやすいように工夫した。

#### (2) 児童・保護者アンケートの実施

昨年度までは、1回であったが、今年度本校では、7月と12月の2回児童・保護者アンケートを実施した。より正確に児童・保護者の思いをとらえるためであり、また課題については、すぐその年度のうちに改善をしていくためでもある。また、2回実施することにより、きめ細かく改善を行うことができるようになった。

#### (3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

まず、児童・保護者アンケートの結果と教職員評価とを関連させ、自己評価書を作成した。また、各アンケートの集約と結果の考察にあたっては、全職員で分担して行うようにした。児童・保護者アンケートの集約については、担任が行い、それを担当者がまとめ、グラフ化や考察を行った。教職員評価については、教職員間の閉鎖的校内ネットワークを利用し、そこに直接記入してもらい、担当者が集約するように効率化を図った。

#### (4) 改善策の検討

教務部及び学校評価委員会で結果をもとに考察し、同時に改善策等も検討した。校務分掌の各部門でも、児童・保護者アンケートや子どもの育ちから2回の評価を行った。それらをもとに考察し、職員会議等で最終的に改善策を提示した。

### 2 学校関係者評価

#### (1) 学校関係者評価委員会の構成と役割

本校では、前年度までは学校評価委員会に評価をお願いしていた。今年度は、学校評議員とPTA役員を中心に構成することを考え、学校評議員のこれまでの役割の他に学校関係者評価の業務を追加していただくことを了承していただき、学校関係者評価委員会を立ち上げた。

構成としては、学校評議員・PTA役員・地域住民等から、学校長の選任により委嘱し、今年度は、学校評議員とPTA会長、学校側という構成員で10月22日に第1回学校関係者評価委員会を実施した。

#### (2) 学校関係者評価書の作成

評価項目に関しては、各評価書と同じようにリンクさせて作成した。事前に資料を送付し、各行事や学校公開日(参観)に来ていただいて児童の育ちを見ていただき、評価委員会で意見や改善策についての意見をいただき、作成した。

学校関係者評価  
地域・保護者の願い

## V 評価結果の公表

### 公表方法の多様化

#### 1 公表の方法

本校では、学校評価の結果及び考察、改善策の提示について以下のように実施した。

##### (1) 学校便りにおいての公表

学校便りの臨時号を発行して、そこに中間評価の結果及び考察、改善策の提示についてお知らせをした。学年末評価についてはも、前期と同じように公表する予定である。内容としては、下記のとおりである。

- ・ 全体的な考察…集計方法や評定の仕方、全体考察
- ・ 保護者アンケート結果のグラフ化
- ・ 児童アンケート結果のグラフ化
- ・ 教職員自己評価結果のグラフ化
- ・ 個々の評価項目から考察と改善策
- ・ 自由記述から

##### (2) ホームページによる公表

本校では、週に1～2回程度ホームページを更新している。子供たちの行事の様子や研究授業の様子、学校便り、給食便りの献立等を定期的に紹介している。これまで実施していなかったが、今年度からは、学校評価においても、上記の学校だよりで公表した内容及び評価書をホームページにて公表している。

#### 2 公表の効果

本校では、保護者や地域の方々の思いや願いを取り入れた学校づくりを推進しており、積極的な情報の発信に努めている。これらの積極的な公表の効果もあり、児童・保護者アンケートでは、すべての項目でA評定となっており、保護者や地域の方に学校の教育活動が理解され、信頼されていると考えている。そのことは、また保護者アンケートの回収率の高まりにも表れている。ホームページのアクセス数も3万回をこえており、積極的な情報発信の効果ととらえている。

## VI 成果と課題

#### 1 成果

今年度は、学校評価に関して重点的に取り組み、多くの改善を行ってきた。これまで1回であった評価を2回にした。評価項目も精選し、各評価書でリンクするように取り組んできた。結果については、今年度初めてホームページにも公表した。より開かれた学校、信頼される学校をめざして、学校評価委員会も立ち上げて、地域の方々の願いや思いを取り入れるようにしてきた。単なる評価のための評価でなく、具体的な教育活動の改善になるよう取り組んできた。これらのことが保護者や地域の方々に理解され、信頼される学校づくりにつながったことが大きな成果と考える。他にも、以下のような成果が上がった。

- ・ すべての項目でA評定であり、学校の教育方針や教育活動が理解され、支持されていることがわかった。
- ・ 2回の評価を実施したことで、指摘された点はすぐに改善できた。
- ・ 学校評価に対する関心が高まり、アンケートの回収率が高まった。

#### 2 課題

評価項目については、十分精選してきたつもりだが、児童アンケートや保護者アンケートの項目については、まだまだ表記を工夫する必要がある。また、今後は学校の教育活動や子どもの様子について知らせていく方法を考えていきたい。

【資料】

自己評価書

平成20年 自己評価書

札幌市立平和通小学校

1. 本年度の重点目標

①一人一人がかがやき、明るく楽しい学校の創造  
②豊かな学力を育む教育課程の実践 ③豊かな心を育む教育課程の実践

2. 本年度の経営方針

①子供の存在を最優先にすること ②信頼される教師に  
③信頼される学校を ④新しい学校の創造を

3. 自己評価結果

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

分類	評価項目	自己評価	
		該当	改善の方策
重点	重点目標の内容は、学校や児童の実態から見て適切である。		
	重点目標に向けた教職員の見通し解が図られ、展開して活動している。		
目標	重点目標の具体化に向けた教育課程が編成されている。		
	一人一人がかがやき、明るく元気に学校生活を過ごしている。		
学習指導	学ぶ意欲を高め、豊かな学力を育てる授業の改善がなされている。		
	基礎基本の確実な定着を図る授業づくりがなされている。		
評価	ゲームメイキングの指導方法や工夫改善に努めている。		
	道徳教育の充実を図る教育課程の充実		
目標	豊かな心や健やかな体を育む教育課程の工夫・改善と教育活動の推進を図っている。		

分類	評価項目	自己評価	
		該当	改善の方策
生徒指導	いじめ、不登校、児童虐待への全校的対応に努めている。		
	特別支援教育の推進・充実を図っている。		
情報	コーディネーターを中心にスクールカウンセラーや学びの支援相談員、学びのサポーター等連携協力に努めている。		
	各種管理マニュアル等が作成され、職員全体に周知されている。		
安全	日常の安全点検体制を確立し、安全確保の徹底を図っている。		
	スクールガードやスクールゾーン委員会、PTA活動等、有機的な連携を図っている。		
関係	地域や児童・保護者の思いや願いを取り入れた学校づくりを推進している。		
	学校評議員など幅広い意見を学校の運営に反映するシステムを充実させている。		
学校	学校便りやホームページ等積極的な情報発信に努めている。		

【資料】

学校関係者評価書 児童アンケート 保護者アンケート

平成20年 学校関係者評価書 札幌市立平和通小学校

1. 本年度の重点目標  
 ①一人一人ががやがや、明るく楽しい学校の創造  
 ②豊かな学力を育む教育課程の基盤 ③豊かな心を育む教育環境の実現

2. 本年度の経営方針  
 ①子供の存在を最優先にすること ②評価される教師に  
 ③評価される学校を ④楽しい学校の創造を

3. 自己評価結果  
 A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

評価項目	自己評価	評価結果
学校関係者評価 書による意見		
児童 生活	児童生活の内容は、学校や児童の意識から見て適切である。児童生活に活発な児童の生活理解が深らわ、豊かになってきている。	
児童 生活	児童生活の質を高める教育環境の充実が図られている。一人一人ががやがや、明るく元気な学校生活を送っている。	
学校関係者評価 書による意見	学校関係者評価書による意見	
児童 生活	児童生活の内容は、学校や児童の意識から見て適切である。児童生活に活発な児童の生活理解が深らわ、豊かになってきている。	
児童 生活	児童生活の質を高める教育環境の充実が図られている。一人一人ががやがや、明るく元気な学校生活を送っている。	
学校関係者評価 書による意見	学校関係者評価書による意見	

平成20年 学校関係者評価書 札幌市立平和通小学校

1. 本年度の重点目標  
 ①一人一人ががやがや、明るく楽しい学校の創造  
 ②豊かな学力を育む教育課程の基盤 ③豊かな心を育む教育環境の実現

2. 本年度の経営方針  
 ①子供の存在を最優先にすること ②評価される教師に  
 ③評価される学校を ④楽しい学校の創造を

3. 自己評価結果  
 A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

評価項目	自己評価	評価結果
学校関係者評価 書による意見		
児童 生活	児童生活の内容は、学校や児童の意識から見て適切である。児童生活に活発な児童の生活理解が深らわ、豊かになってきている。	
児童 生活	児童生活の質を高める教育環境の充実が図られている。一人一人ががやがや、明るく元気な学校生活を送っている。	
学校関係者評価 書による意見	学校関係者評価書による意見	
児童 生活	児童生活の内容は、学校や児童の意識から見て適切である。児童生活に活発な児童の生活理解が深らわ、豊かになってきている。	
児童 生活	児童生活の質を高める教育環境の充実が図られている。一人一人ががやがや、明るく元気な学校生活を送っている。	
学校関係者評価 書による意見	学校関係者評価書による意見	

平成20年 学校関係者アンケート 札幌市立平和通小学校

1. 本年度の重点目標  
 ①一人一人ががやがや、明るく楽しい学校の創造  
 ②豊かな学力を育む教育課程の基盤 ③豊かな心を育む教育環境の実現

2. 本年度の経営方針  
 ①子供の存在を最優先にすること ②評価される教師に  
 ③評価される学校を ④楽しい学校の創造を

3. アンケート内容  
 A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

学校関係者評価書による意見	
お子さんは、明るく元気に学校生活を送っていますか。	A-B-C-D
お子さんが、主体的に取り組むことができるよう楽しい授業づくりに努めていますか。	A-B-C-D
日常の学習で行われて行われる授業を通して、他人を思いやる心を育てるなど、心の豊かさが育まれていますか。	A-B-C-D
運動会や学習発表会、その他の学校行事の内容は選好だと感じますか。	A-B-C-D
お子さんは、いじめがなく、安心して学校生活を送ることができるよう、応用・行動には、適切な指導が行われていますか。	A-B-C-D
交通安全教育、環境学習等、児童に対する交通安全指導は、適切に行われていますか。	A-B-C-D
学校は、メールの一斉配信や一斉下校日の設定などを入れています。不審者侵入時の対応や緊急時の集団下校等、危機(不審者・災害)への対応が適切に行われていますか。	A-B-C-D
学校は、学校生活、学業生活、部活の励み、ホームページの更新等家庭への連絡や情報提供を適切に行っていると思いますか。	A-B-C-D

★学校に対して、ご意見がありましたら、ご記入ください。

意見欄

平成20年 学校生活アンケート 札幌市立平和通小学校

このアンケートは、平和通小学校をもっとよくなるために、みなさんにお聞きするものです。あてはまると思うところに、○をつけてください。

A:できた B:だいたいできた C:あまりできなかった D:できなかった

アンケートの内容	よろず
あなたは、明るく元気に学校生活を送っていますか。	A-B-C-D
学習することが楽しいですかまた、学習がわかって楽しいですか？	A-B-C-D
あなたは、思いやりをもって人と関ることができていますか？	A-B-C-D
運動会や学習発表会、その他の学校行事にすすんで参加していますか？	A-B-C-D
いじめがなく、安心して楽しい学校生活を送っていますか？	A-B-C-D
ふだんから交通安全のやくそくをまもって生活していますか？	A-B-C-D